



2019年7月5日(金), 8日(月)

北海道では、7月7日を「北海道クールアース・デー」と定め、地球温暖化防止に対する理解と意識を深めるため、この日を中心に全道各地で普及啓発を行っています。

この一環として、北海道庁赤れんが庁舎の前庭で、家庭や職場などそれぞれの活動の場において電気の照明を消して、ローソクの光の中で、地球環境のこと、未来のことを静かに考えるきっかけとするため「赤れんがガイアナイト2019」を開催しました。

赤れんがガイアナイト2019は、赤れんが庁舎をライトダウンし、環境やSDGsに関するメッセージを高校生に発表していただき、木管五重奏の演奏を聞きながらキャンドルの灯りを楽しむ中で、地球温暖化防止や環境について考えていただくよう呼びかけました。

また、このイベントに合わせて、企業の環境に関する取組を紹介するランチタイムセミナーとパネル展を開催しました。



ランチタイムセミナー「環境カフェ」(道庁本庁舎 1階交流広場)

北海道コカ・コーラボトリング(株)様、アサヒビール(株)様、(公財)北海道環境財団様に、企業の環境に関する取組について講演をしていただきました。



北海道環境CSR応援団パネル展（道庁本庁舎 1階交流広場）

環境に関するCSR（企業の社会的責任）活動に取り組んでいる企業10社のパネル展を開催しました。



環境（SDGs）メッセージ（赤れんが庁舎前庭）

市立札幌開成中等教育学校の生徒の方に、環境やSDGsについてメッセージを発表していただきました。



キャンドル点灯式（赤れんが庁舎前庭）

点灯式では、中野副知事、市立札幌開成中等教育学校、札幌大谷大学、来場者の皆さまがキャンドルに点灯しました。



キャンドルアート（赤れんが庁舎前庭）

赤れんが庁舎は、各所に劣化が著しく進行している状態のため、令和元年10月から一時閉館してリニューアルし、北海道の歴史や文化、観光の情報発信拠点として生まれ変わります。これを記念し、キャンドルアーティストの手作りを含む約500個のキャンドルで、「2019」「令和」「赤れんが庁舎」をデザインしたキャンドルアートを作成しました。



コンサート（赤れんが庁舎前庭）

札幌大谷大学芸術学部音楽学科の皆さまに、キャンドルの優しい灯りの中で、木管五重奏によるガイアナイトにふさわしい素敵な演奏をしていただきました。

